

H	デザイン実習 3A							年度	2025
英語科目名	Design Practice 3A							学期	後期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 2年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	白鳥 裕之			教員の実務経験		有	実務経験の職種		デザイナー・ディレクター
【科目の目的】									
この授業では、出題される課題のテーマに沿って、講師からの解説やレクチャーを受けながら、学生の「製品デザインの提案力」を育成していきます。様々な技術を応用し、他の学生との意見交換を行いながら、モデル制作技術の向上を目指します。 プロダクトデザイナーの仕事や役割を理解し、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、実際の生産現場を想定しながら商品提案ができるようになることを目標にしている。									
【科目の概要】									
この科目ではプロダクトデザイナーへの専門性を高めていくために、学生自ら調査し、問題提起からコンセプト立案を行います。さらにそれを具現化させるためのアイデア検討、提案モデルの制作、図面・3Dの作成、プレゼンテーションを行います。									
【到達目標】									
目標A リサーチや調査などデザインに必要な知識が得られている 目標B 得た情報からアイデア展開ができる 目標C 必要な条件をまとめ、モデル制作やプレゼンテーションができる									
【授業の注意点】									
この授業では、学生に実際に工業デザインの企画提案をしてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5		レベル3			レベル1			
	優れている		ふつう			要努力			
到達目標 A	リサーチや調査など デザインに必要な 知識がよく得られて いる		リサーチや調査など デザインに必要な 知識が得られている			リサーチや調査など デザインに必要な 知識が得られていな い			
到達目標 B	得た情報から アイデア展開が よくできる		得た情報から アイデア展開が できる			得た情報から アイデア展開が できない			

到達目標 C	必要な条件を まとめ、モデル制作 やプレゼンテーショ ン がよくできる		必要な条件を まとめ、モデル制作 やプレゼンテーショ ン ができる		必要な条件を まとめ、モデル制作 やプレゼンテーショ ン ができない	
【教科書】						
特定の教科書はない。適時、授業に必要な資料配布を行う。						
【参考資料】						
授業にて資料配布を行う						
【成績の評価方法・評価基準】						
プレゼン 20% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度 40% 提出課題完成度を総合的に評価する リサーチ 20% 制作準備と過程を評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		デザイン実習 3A			年度	2025
英語表記		Design Practice 3A			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	課題の理解	1 調査・リサーチ	自ら率先して調べる力		
			2 資料整理	資料を整理して、まとめる力		
2	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	モデル表現	1 モデル制作	アイデアを立体的に表現する力		
			2 プレゼン準備	提案内容や制作物の意図を相手に伝える力		
3	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	前課題の振り返り	1 課題説明	課題を理解する力		
		新課題の理解	2 調査・リサーチ	自ら率先して調べる力		
			3 リフレクション	課題を振り返り、良かった点や反省点を整理する力		
4	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	調査方法の習得	1 調査・リサーチ	自ら率先して調べる力		
			2 資料整理	資料を整理して、まとめる力		
5	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	アイデア 展開方法の習得	1 アイデア展開	自分で集めた情報からアイデアを展開する力		
			2 アイデア説明	自分のアイデアを説明する力		
6	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	モデル表現	1 モデル制作	アイデアを立体的に表現する力		
			2 モデル検証	モデルの評価を行う力		
			3 検証を反映	制作物をブラッシュアップする力		
7	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	モデル表現	1 モデル検証	モデルの評価を行う力		
			2 検証を反映	制作物をブラッシュアップする力		
8	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	プレゼン テーション技術 の習得	1 モデル検証	モデルの評価を行う力		
			2 プレゼン準備	提案内容や制作物の意図を相手に伝える力		
			3 チェック	プレゼン内容の確認		
9	デジタル ファブリケーショ ン ×ステーションナ リー	課題の総評	1 プレゼンテーション	提案内容や制作物の意図を相手に伝える力		
			2 評価講評	講評から改善点を理解している		

10	調査課題	前課題の振り返り 新課題の理解	1	課題説明	課題を理解する力		
			2	リフレクション	課題を振り返り、改善を整理する力		
11	調査課題	アイデア展開方法 の習得	1	アイデア展開	自分で集めた情報からアイデアを展開する力		
			2	スケッチ	アイデアをスケッチで表現する		
12	調査課題	アイデア展開方法 の習得	1	アイデア展開	自分で集めた情報からアイデアを展開する力		
			2	モデル制作	アイデアを立体的に表現する力		
13	調査課題	モデル表現	1	モデル制作	制作物をブラッシュアップする力		
			2	プレゼン準備	提案内容や制作物の意図を相手に伝える力		
			3	チェック	プレゼン内容の確認		
14	調査課題	プレゼンテーション 技術の習得	1	プレゼンテーション	提案内容や制作物の意図を相手に伝える力		
			2	評価講評	講評から改善点を理解している		
15	総評	自己・他者評価 授業評価	1	プレゼンテーション	制作物について客観的に振り返る力		
			2	リフレクション	課題を振り返り、改善を整理する力		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等